



### 本日はよくお参り下さいました

落ち葉が風に舞う頃となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。さて、10月27日(土)に横須賀中央で行われた「みこしパレード」には、久里浜天神社氏子会として山車と旧宮神輿が参加しました。これまで宮神輿は例祭以外の行事に出たことはありませんでしたが、天皇陛下の御即位30年を祝すため参加することになった記念すべき



氏子会の杵鞭武さん

一日でした。氏子会青年部を中心として、氏子会のかつての若人の方々も応援に駆けつけて下さり無事戻ることができました。また10月28日(日)には、すみれ会の皆さんが境内を清掃して下さいました。10月29日(月)には、氏子会の杵鞭武さんが、たくさんの菊の花をご奉納して下さいました。11月中は楽しめるそうです。今月も皆さまにとって幸多い月となりますように。権禰宜 道子

## 11月



### 1日・15日 月次祭 (つきなみさい)

皇室の弥栄と国家安泰、氏子崇敬者並に社会の幸福と平和を祈ります。

### 3日 文化の日

文化の日は明治天皇のお誕生日で戦前は明治節と呼ばれていました。明治天皇が崩御され大正天皇が即位されると11月3日は普通の日になってしまいます。しかし大正14年に11月3日を祝日にする請願運動が行われ、二万名の署名が議会に提出された結果、ついに昭和2年に「明治節」として制定されました。戦後は祝日法が公布され「文化の日」となりました。

### 7日 立冬 これから冬に入る初めの節。

15日 七五三 対象の方は三歳の男女・五歳の男児七歳の女児です。満年齢でも数え年でも大丈夫です。

22日 小雪 寒さもまだ厳しくなく、雪まだ大ならぬの意味。

### 23日 新嘗祭(にいなめさい)

神道の収穫祭とも言える大切なお祭りです。天皇陛下が神さまに新米をおすすめする日です。陛下は、この日まで新米をお召し上がりになりません。



## 天神さまの豆知識

### ― 神道の教えについて ―

先日「神さまを信じているといいことがあるんですか?」という、興味深いご質問を受けました。

一般的に神道には教えがないと言われているますが、ただ神さまを信じていれば良いのか。それだけでは何か足りないような気がします。大切なことは「日本人としての心を受け継ぐ」ということではないでしょうか。

そうむずかしい話ではなく、神さまと人は血の繋がりを有するということです。神道も仏教も、またままつりを大切にします。遠いおじいさんやおばあさんを、敬う気持ちに似ています。

また、火や水、草木や物、何にでも神さまが宿ると考えること。これはものを大切に、「もったいない」の精神につながっています。

「日本人は親切」というイメージがあります。それは神道で大切にされる「まごころ」や「誠の心」があるからこそ現れる行動といえるでしょう。

明るいこと、きれいなこと、これも神さまが好むことです。日本人はきれい好きといわれますが、自然と神さま

が好まれる状況を作り出しているということになります。つまり

### 『心だに誠の道に』

かなひなば、

祈らずとも

神や守らん』

菅原道真公

(心さえやましくなければ、ことさら神さまに祈らなくても、自然に神さまのご加護があるだろう) ということなのかもしれません。参考文献 阿部正路著『改訂版神道がよくわかる本』 P HP 研究所発行

## 今月の言葉

### 『自然とは』

神そのものである』

自然は神そのものだ。美しくありながら、人の思うようにならない厳しさこそが、神であり、自然の姿である。

厳しくあるからこそ美しく、美しいからこそ厳しい。それが神道の国、日本の美観である。参考文献『神道のことば』

竹光 誠監修 平成二十六年六月十五日 河

出書房新社発行